

短歌

末武 有二 選

み社の木々のみどりに染まるがになんと清し  
き一日参り 惣領 島田 廣子  
若葉の萌え椎の黄花に竹の秋彩り映ゆる真向  
ひの山 安永 守住 孝子  
動物園杖を頼りに久方に大きな象に声をかけ  
たり 田原 永田巴智子  
新緑の中を走るよ陣羽織半年遅れの七五三詣  
り 木山 本田 龍子  
新しい花との出会い楽しみにまわり道するふ  
たりの散歩 宮園 秋月 充博  
散歩道まぶしいほどの新緑に阿蘇の山々朝日  
に映える 惣領 新居 露子  
法事終え故人を偲ぶ般若湯和尚付言で宴始ま  
る 赤井 増岡 伸禧  
転寝の息子の寝息心地よさ吾もつられて眠り  
こけそう 江津 高田芙佐子  
仰ぎ見る空に赫く若楠葉ウクライナまで届け  
と祈る 広崎 日野ヒロ子  
プーチンに家を追われる悲惨さよコメント全  
て正論と聞く 宮園 島 みつき  
マスクして手洗いうがいが防除するコロナ終  
わる日いつになるやら 木山 西田 正巳

俳句

河野 全平 選

朝露や手を振る笑顔保育園  
鯉のぼり見上げる夫の腕に孫  
野苺やハンカチ染めた一握り  
サクランボ狙ふ小鳥にお裾分け  
さかさ阿蘇水面に映える田植えかな  
よくしゃべる旅それぞれ夏帽子  
かたくなに筋を通して雑木の芽  
独り酒心のコロナ払ふべく  
竹の秋祠に褪せる天井絵  
一句鑑賞  
子孫に申す「よいと信する句を作れ」  
高浜 虚子

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠  
世界不安やすらぐ暇もなかりけり 古閑の恒心  
断捨離しさばさばしたよ空も晴れ 江津の芙佐子  
公金を何たる事ぞ「誤送金」 そのまんま東  
知床の海の遭難哭くピリカ 森繁久彌  
『お題』 復興どんどん  
復興へ重機とダンプ揃い踏み ましきの金時  
復興どんどん夫と孫等とバーベキュー 木山の龍子  
行楽へマスク外して大はしやぎ 惣領のトミ子  
復興どんどん女性進出町議選 矢島の楯子

次回のお題 「大にぎわい」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広  
報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財  
町文化財保護委員会

土山

水野家文書

水野家は、細川家が肥後に入国  
する前から仕えていた、五百石取  
りの武士です。また、明治初期  
に「肥後の三筆」といわれた水野頼  
山を輩出した家でもあり、頼山の  
数々の書と共に、次のような歴史  
的に価値ある貴重な文書類が残さ  
れています。

- ①「豊臣秀吉朱印状」・「豊臣秀次書簡」・「宛行状」(織豊期)
- ②「水野家系譜」
- ③「御赦免開」・「口上之覚」(江戸期)
- ④「質地證文」・「讓地證文」・「讓渡證文」
- ⑤「質奉公請状」
- ⑥「その他書翰」類
- ⑦「書籍等筆写」(幕末維新时期)
- ⑧「地券」(明治期)
- ⑨「金子借用證文」(明治期)
- ⑩「出納帳」(明治期)